



洗脳・乱交

カルト教団の教祖継いだら
大量の洗脳者みま〇こが手に入ったので
ハメまくろうと思う













ホロ

ホロ

プルプル









お尻！！























ベチャッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ
ジュッ
ジュッ









んにゅ
んにゅ

しゅ
しゅ

ふにゅ
ふにゅ

ふにゅ





はぐはぐ

ぎゅ

ぐ

ぐ

ぐ





榮
榮
榮

榮

榮







ゴブゴブ

美味い















ガクガク

ガク

ガク

ガクガク



しゅわ

しゅわ

あつ

あつ

わん

もみ

わん

わん

あつ

しゅわ

しゅわ















♡はぁ♡

♡はぁ♡



びしょびしょ

びしょびしょ

かたかた

びしょびしょ

くしょくしょ

くしょくしょ



ドキ
ドキ

ビ
ビ

ブル
ブル



ビクッ

ビクッ

ハッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ













ハア

ハア

あッ
あッ
あッ

アッ

アッ

あッ

アッ
アッ

アッ
アッ

パン


あッ

あッ

あッ

パン
パン

パン
パン
パン



叔父が亡くなったという
知らせを受けたのは
今朝のことだった。

ただ悲しみとかはなかった。
というのも叔父はもう何年も前に
行方をくらましていて
まったく付き合いがなかったからだ。

だということになぜか
叔父の遺産は僕に
相続されるよう手続きされていた。

これが叔父さんの
所有してた建物か
集会所か何かかな？

うん

なんかがっかりだな……
遺産なんて言うから
期待してたのに……

こんな山奥にあると
使い勝手悪いし
税金のこと考えたら
相続放棄したほうがいいかも……

ってあれ
人が住んでるのか

叔父さんの奥さん
……にしては若すぎるな



にしても大胆な服だな

大事な部分がギリギリ
隠れてるだけで
ほぼ裸じゃないか

ああ……なんとなく
わかってきた

この人は叔父さんの
愛人かなんかだな

こんなエロい美人さんと
ムフフなことしてたんだとしたら
羨ましい限りだな

いつその人も
僕が相続できればいいのに



貴方は……

やばっ
気づかれた。

いや、別に何もやばいことはないか。
僕はここの相続人なんだし
ちゃんとそのことを説明すれば



再誕されたのですね
教祖様!

わたしは……ユリは
信じておりました!

えっ?
再誕!? 教祖!?
何いってんのこの人

もしかしてここって
そういう施設なの?

ポロ

ポロ

よく見たらこの女の人
目が死んでるし
これ、関わっちゃ駄目なやつだ。

プルプル

さあ教祖様!
長らくお勤めが叶わず
ユリの罪穴は穢れが
溜まっております

どうか教祖様の
聖棒で
お清めくださいませ

嘘だろ?!!
この人何のためらいもなく
おま〇こを丸出しにっ!!

ぱんっ♡

そういうことか!
叔父さんはここで
女性を洗脳して
信者として
奉仕させてたんだ!

つまり教祖を継げば
僕がその立場に
立てるんだ

女の人と手すら
繋いだことのない僕が
この美女を
抱きまくれるんだ

ああ……すごい♥
見ていただくだけで
穢れ汁が排出
されていく♥

体が清められて
いくのを感じます♥

ハァ
ハァ
くばあ



いや、性欲に負けちゃだめだ。
これは悪いことだ。
こんな教団すぐに解散して
ユリさんを
開放してあげるべきだ！

あっ♡
久しぶりの聖棒♡
すごいっ♡
前より大きくて硬い♡

ガッガッ

ズッ
ズッ
ズッ

あつ、でも体が勝手に！
すごいっ、ま○こってこんなに
気持ちいいんだ！
うん。これは仕方がないね。
入れちゃった以上
責任取らなくちゃ

プル
プル

この教団継ぎます！

今日から僕が
新教祖様だ！

ぐわんぐわん！！



すごいっ!
こんな激しい浄化
初めてです♥

これが復活を遂げた
教祖様の力なんです♥

ああっ♥感じます♥
私の罪が
清められていく♥

教祖様♥教祖様♥
教祖様ああああ♥



お勤めご苦労さまでした♥
これからも変わらずユリを
導いてくださいます♥

うむ!
くるしゅうないぞ

うひょくセックス最高だった!
宗教なんてよくわからないけど
これなら頑張れるぞ!

では他の穴女にも
是非救済を

彼女らも
穢汁を垂らして
待っております

へ?

ポタ
ポタ

穴女ってようするに
信者のこと?
他にもいるのか……



教祖様
♥

おかえり
なさいませ
♥

すわっ



ま……マジかよ……

室内は見渡す限り
女体で埋められていた。

大きいおっぱい、小さいおっぱい
未熟なま〇こ、熟したま〇こ。
十人十色な性器が並び
メスの匂いを漂わせている。

これが全部
僕のもの……だと？

この時をずっと信じて
待ってました♥

どうかまた
穢れたわたしたちに
救いの施しを
お願いします♥

スッ

えっ!!
この子ってちょっと前に
電撃引退したトップアイドルの
サクラちゃんじゃん!

僕はサクラちゃんの大ファンで
何度もライブに行つて
ステージ上の彼女を見上げてたんだ

申し訳ないけど
何度もおかずにさせて
もらったこともある

清楚売りしてたから
露出の多い衣装なんて
まったく着てなくて
妄想に頼るしかなかったのに……

パンチラを拝むどころか
手マンで潮吹きさせる日が
来るなんて！

すごい♡

どンドン穢れが
抜けていく♡

もっとください♡

男の欲望と
薬物で穢れたサクラを
救ってください♡

ハア

ハア

ガクガク

ぐちゃ
ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ
ぐちゃ

びちゃ
びちゃ



そっか……
サクラちゃんには
キメセク肉便器に
されてたんだね

ネット掲示板で
引退理由として
そういう書き込みがあっただけ
であって本当だったんだ

ハ
ハ

あっ♡
聖棒施し
ありがとうございます♡

すごいっ♡
前より大きくて
太いです♡

毛三♡

毛三♡

ズ
ズ
ズ

ショックだな……
処女だと思ってたのに
すでに他の男に
パコられてたなんて

でも許すよ！
おま○こ気持ちいいから！

ああっ♡
そんなっ♡
顔の浄化まで♡

穢れたわたしに
ここまでして
くださるなんて♡

ありがとうございます♡
ありがとうございます♡
ありがとうございます♡

これからは
僕だけのアイドルだ！

全部僕色に
染めてあげるからね！



罪穴救済
ありがとうございます
ございませうございませう

ベ
ぢやあぁ

すごいや！
中出ししても
こんな気持ち悪いプレイしても
感謝されるなんて！

グ
グ

グ
グ

この人たちは完全に
洗脳済みなんだ。
僕はこの人たちに好きなだけ
欲望をぶつけていいんだ！

グ
グ
グ
グ
グ
グ



よしお前たち！
穢れを被りたいなら
尻を向けて並びなさい！

ハッ
ハッ

はい♡
教祖様♡

おっ！
こっちの子はかなりの
締め付けた！

顔や胸と同じくらい
ま〇こにも
個性があるんだな

ハァ
ハァ

これはしばらく
飽きることは
なさそうだ

あゝ気持ちいい！
教祖最高！

あゝ

あゝ

んほ

トロ



ふうふう
出した出した。
こうやって並べると
征服した感あるなあ



これでもまだ半分も
抱いてないんだよな。
今日は流石に
疲れちゃったから
終わりにするけど……

でも男のロマンは
ハメるのみにあらず!

お加減は
どうですか
教祖様?

ああ
いい具合だよ
すまないね
何もかも
任せてしまつて

いいえ!
これがわたしたち穴女の
つとめですから♥



すごいな。
ま〇こ使わせてもらった上に
こんなに尽くしてもらえるなんて
まるで王様になった気分だ



行方をくらました
叔父さんの気持ち
がよくわかるよ

もう家に帰る気が
しないや

ガクガク

ジャジャ
ジャ

そしてお風呂の次はこれだ！

今日の食器番は
アカネが担当させて
いただきます♥

さあ教祖様
お召し上がりください♥



どうやら僕と叔父さんの
性癖は似ているらしく
僕のやりたいプレイは
すでに信者たちの
習慣(おつとめ)となっていた

きよつ——教祖様
そっちは食べ物じゃ
ないです♥

はぐ
はぐ

ぐん

となれば
後は寝るだけだけど
当然就寝用のおつとめが
あるんだよね?

ああっ♥
穢れ汁出ちゃう♥

未熟なアカネを
お許しください♥

ぎゅ

アキア

ぐん



本日の肉布団は
わたしたちが
担当いたします♥

どうぞ
おやすみ
くださいませ♥

ムチ♥

ムチ♥

やっぱり!
信じてたよ叔父さん!

あゝ
これは至福の柔らかさ。
男を駄目にする布団だ

こんな女の子をモノ扱い
するようなこと
普通だったら
絶対許されないんだろうな

もみ
もみ

ちゅ
ちゅ

完全に勢いだったけど
教祖継いでよかった

おやすみ
僕の信者たち……



もう朝が
んく眩しい

でもなんか下半身が
気持ちいいような……

ポ
ポ
ポ

ポ
ポ
ポ

ポ
ポ
ポ

おはようございます
教祖様

なっ——サクラちゃんが
僕の朝勃ちチ○コを
しゃぶってる!!

ジグザグ
ジュルジュル
ブツブツ
ブツブツ

まさか憧れのアイドルに
こんな起こされ方を
するなんて……
やっぱり教祖最高だな!

とか思ってたなら
もうすでに
出ちゃってた

うぼぼぼぼぼっ
がぼっ
うぼっおおお!!

なっ
何をしているのですか?!

ゴボ
ゴボ
ゴボ

ヤバイ!
これは流石に
駄目だったか?!





もっ……
申し訳ございません

まさか聖水を
頂けるなんて
思ってたなくて

どうか……
どうかお許しを……

ガッガッ

見苦しい真似は
おやめなさい
サクラ!

これは許されることでは
ありません!
いますぐ神判の準備を!

ガッガッ

プルプル

あつ……
怒られるのは
サクラちゃんなのか。
なんというか……
申し訳ない

お許しください
教祖様!
どうかこれだけは――

黙りなさい!
あなたの信仰が確かなら
何も問題は起きないのです!

さあ教祖様!
裁きの御柱を
この者の穢れ穴へ!!

なっ……なんか
思ってた以上の大事に
なってしまった

忘れてたけど
こっつてカルト教団
なんだよな……

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ



逆らうの怖いから
やるけど
こんな太いの入れて
お尻裂けたり
りないのかな？

お願いします！
お許してください！
ごめんなさい！
ごめんなさい！
ごめんなさい！

禁
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

おっ
意外と簡単に入るな
これなら大丈夫そうかな



おっ……
おおおおおおおお

おびよおおおおお
ぎよおおおおお

えっ……
何この反応

これじゃまるで
ラリった人じゃん

もしかしてこのデイルドに
ついてたローションって
ヤバイ薬なんじゃ……

グッポ
グッポ

グッポ
グッポ

グッ
グッ

サクラちゃん泡吹いて
痙攣しちゃった……

どうやら彼女の
信仰心はまがい物
だったようです

神罰が下り
彼女の魂は
消滅しました

埋葬の準備を！
彼女を死者の間に
移します

どうしよう……
どんどん話が
物騒な方向に……



死者の間と呼ばれる場所は
まるで本当に死体を処理するために
作られたような
タイル張りの水場だった



このままじゃ
本当に解体ショーが
始まりそうだったから
他の人追い出したけど
ここからどうすれば……

とりあえず
サクラちゃんの容態を
調べないと

よかった
ちゃんとお心臓動いてる

でも体が冷たいし
すぐ震えてる

ガクガク

トクン

トクン

ガクガク

医学知識なんて
まったくないから
対処法なんてわからな
いけど
とりあえずこうして抱
きしめて
温めてあげよつと

重ねてごめんねサクラちゃん！
一回やってみたかったんだ！
昏睡レイプ！

動いたほうが
体も温まるし
いいよね？

なんか甘い声も漏れてきたし
きつと復活の時は近いぞ！
なんちゃって(笑)





あっ...
あっ...
ああ...

おっ!
おお!
ほんとうに復活した!

キスじゃなくて
中出しで目覚めるとは
なんてスケベなお姫様なんだ

グワッ

あッ

アッ

ありがとうございます……
こんな罪深いわたしを
救ってくださるなんて……

教祖様のお陰で
ようやく真の信仰に
目覚めました

これからは命を捧げ
教祖様に尽くします！

命って……
大げさだなあ

でもだんだん
この教団のやり方が
わかってきた気がする

ホロ
ホロ



奇跡を授かったあなたには
穴女従二位の地位を
与えます

今後も
信仰に励みなさい

はいっ!

すべては教祖様の
御心のままに!

ハア

ハア

でも僕はすでに
この人たちを
抱いちゃった

いまさら後戻りは
できないんだ



だったら開き直って
この子達も頂いちゃおう！

ユリさんの話しだと
この子達は信者の娘で
叔父さんが元氣だった頃には
まだ若すぎて清めの対象には
なってなかったのだそう

きょうそさま
今日は
よろしくおねがいます♡

つまりこの子達は――

ではまず君たちの
罪穴を見せて
もらおうか

はいっ！
ど……どうですか
きようそさま

やっぱり！
この子たち処女膜付きだ！

なんて犯罪的な
光景なんだ！！

くはぁ♡

くはぁ♡

でもこの未成熟ま〇こ
まるで調教済みみたい
グチャグチャだ

たぶん怪しい薬で
感じやすく
されてるんだらうなあ

これは不味い！
だしぶ穢れが
溜まっているね

あゝ早くこのお尻を
ぶち込みたい！

そっ……そんな
おねがいします
ユミたちを
すくってください

ピャピャ
ピャピャ
ピャピャ
ピャピャ
ピャピャ
ピャピャ
ピャピャ
ピャピャ
ピャピャ
ピャピャ

ビクビク
ビクビク
ビクビク
ビクビク
ビクビク
ビクビク
ビクビク
ビクビク
ビクビク
ビクビク

でもその前に
しゃぶっておこう！

処女ま〇こ汁を
味わえるのは
今だけだし！！

あっ♡あっ♡
汚いお汁が
いっぱい出てる♡

ありがとうございます♡
ありがとうございます♡
ありがとうございます♡

あゝ
幼〇のま〇ん
おいちゝ

ザルザル

ズブズブ

ビク

ビク

ドク

ク

んあっ♡
しゅぐい♡

これすきい♡

まったく
体は未熟なくせに
いつちよ前にメスの声
出しやがって!

非常に
けしからん子たちだな!

ビクッ

ビクッ

ハッ
ハッ

もっとお♡
もっとして
きようそさまあ♡

そんな悪い子たちには
そろそろ躰を施して
あげないとね!

ジュル
ジュル
ジュグググ

ビャビャ
ビャ



ふひひ
新鮮ぶりの
ま○こサンドの出来上がり

いや
最高に贅沢な光景だなあ

さてどっちに
入れようかな



まずはちよつと怯えてる
上の子から！

あっ♡あっ♡

うっ……
すごく狭い

これは僕のサイズだと
かなりキツいな……

ズズズ

ズズズ

ズズズ

ズズズ

そうだよね
まだ男を受け入れる
体じゃないんだ

本来ならもっと熟してから
食べる果実なんだよね……



じやあ続いて下のま○この
感触はつと——

うん
こつちも元気にギチギチ
締め付けてくる！

でもまん汁の量やばくて
ピストンはスムーズに
行えるな

ヴァン

ハア

ハア

あゝ

僕としては
楽でいいけど
薬の力って怖いなあ

あゝ

あゝ

ヴァン

グキョ

グキョ

グキョ

グキョ

グキョ



ふっ
出した出した

処女ロマン
ごちそうさまでした

ピクピク

ブッブッ

ハア
ハア

ハア

ハア

ピクピク

これからいっぱいハメて
立派なレディーに
してあげるからね

だからこれからも
僕への信仰よろしくね



それ以降も僕は
教祖としてたくさん
の信者と
やりまくっている

この快楽を知ってしまった僕は
もうこの生活を
手放すことはできない

だからたとえこの先に
破滅が待っていようと
僕は教祖をまっとうするぞ！

おわり



ハア

ハア

あっ

あっ

アッ

アッ

あっ

グアッ

グアッ

パン

パン

パン

あっ

あっ

あっ

パン